

2021 年度訪問看護ブログ：カコミにしているのは、ICT ツールでみんなが書いている「始業時報告」からの抜粋です。時々ご紹介します。

2022 年 3 月 31 日（木）

24 日からインターンシップの学生さんが来てくれていました。

訪問看護にあこがれていたけど、もしかすると臨床経験をしたほうがいいのかも、本当にしたいかどうか、もっと考えてみますと言っていました。人それぞれ思いがあるので、それを大切にしたいし、勇気を出して飛び込んだら覚悟して頑張りたいなと思います。

ここのスタッフは、覚悟のある人に親身に一緒にいてくれる人たちばかりです。

この始業時報告は、臨床経験も長いスタッフが書いてくれたもの。楽しい、と感じてくれることは、何よりも一緒に働くスタッフにとってうれしい事だと思っています。

明日からは、2022 年度版（令和 4 年度版）として、このブログ更新、また頑張ります。

始業時報告

訪問看護入職して一年たちました。なぜかあんまり記憶がないのですが、勉強の日々、看護の楽しさ感じています 😊 スタッフの皆様にはたくさんのご指導、お世話いただき本当にありがとうございます!! まだまだ勉強する事が多すぎて、焦りもワクワクもありながら…また日々に流されていくと思います。次年度も楽しくボチボチ頑張ります 😊

2022 年 3 月 30 日（水）

このところ、本部関連の会議が続き、現場とはまた違うストレスが（すごく）あります。

年度替わりで、環境の変わるスタッフもいて、この始業時報告のようなことも時々。

こういうのを見ると、昔の病院時代、子供のことで休むなんて遠慮してできなかった自分を思い出します。ここは子供さんを優先してねと言う風土。子育て修了世代も多いので、「大丈夫？早く帰ってあげ！」なんて会話も飛び交っています。

始業時報告

娘、お留守修行中。今日は家でる時「ママ、こわいよー」と言われ私も悲しくなる 😞

2022 年 3 月 23 日（水）

当センターでは新卒看護師採用を継続しています。この始業時報告はその新卒者のもの。

6 年続けていろいろなことがわかってきました。その一つに社会人としての教育も必要であるということがあります。彼女の場合も、食事のことや治安面など、お母さん世代がやきもきしながら見守っています。がんばれ。

始業時報告

カコミは ICT ツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

今日は完全に火曜日だと思ってゴミ捨てに行こうとしたら、ゴミステーションに一つもゴミがなくて、水曜日だと気づきました。

2022年3月22日（火）

✍️ 始業時報告

今回の携帯当番、深夜電話出るとそのまま眠れぬ日2回🙄皆さんどうされてるのでしょうか…

この始業時報告、あるあるです。

一般に、病院は日勤帯と夜勤帯の勤務区分があって、日勤のスタッフが夜間対応をすることは考えられませんが、訪問看護ステーションは日勤も夜間帯対応も、両方を同じスタッフが担います。でも、多くの人は病院と同じように、夜間の担当者が待機している、と思っているようです。継続できる緊急体制づくり、当センターはかなり進んでいますが引き続き頑張ります。

2022年3月18日（金）

次のコロナ波に向けた保健所との打ち合わせ。

副所長さんは、今月末で定年退職されるそうで、コロナ禍で一緒に仕事させていただき感謝です。ここに就職した時、行政保健師さんのチームも同じフロアで仕事されていて、私は1か月、保健師として研修させていただきました。その時からの長いお付き合いがあったから、このコロナ禍でも忌憚のない意見交換をさせていただけたと思っています。

✍️ 始業時報告

ピカピカの本が溜まってる。今週末こそはせめて1冊読む!!

2022年3月17日（木）

開業されたという先生が、在宅医療初めてなので話を聞きたい、とアポイント依頼があり、今日お会いしました。結論は、2日間ほど訪問看護の実習にお越しいただくことに。

実際に実習に来てくださる医師はこれまでおられなかった（医学生は年数回、複数校から来られます）ので、こうした機会が増えたらいいなと思います。

✍️ 始業時報告

- 早よ起きないと、と思ったら夢でパジャマ着て出勤し慌てていた、場面は病棟が多いんです🙄地震対策公私共に確認していかなくては

- 還暦でまだ研修の身分でした😅センターでは大きい顔😏しててすみません🙇

〇〇さん定年退職😞寂しいですね。まだ若い頃いろいろ助けて頂いた。ネットワークで会うといつも穏やかで優しかった。感謝🙏

- 昨日の研修とても勉強になり面白かった😄運営スムーズにさせていただきありがとうございました🙇

カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

2022年3月16日（水）

今日は、おひさまクリニックの福田院長から疼痛コントロールの講義をしていただきました。2月のがん化学療法看護の講義に続き、がん関連の最新知識を詳しく学べた、貴重な時間になりました。サザエさんタイム（おさらいのクイズ）があって、みんな「指名されるかも」と思ってドキドキしていたよう。疼痛コントロールの基礎から応用まで、短時間なのにすごく勉強になりました。また講義受けたいです。

 始業時報告

- 昨日じっとしていても動悸が。今日動いたら鼻水目が痒いです！黄砂の影響みたいですよ。マスク鼻水だらけ！
- 夜中24H電話が鳴ったら目が覚めて眠れなかった。みなさんいつもありがとうございます😊

2022年3月12日（土）

全国訪問看護事業協会 ターミナルケア集中講座の仕上げとなる事例検討会。

今回はファシリテータとして参加しました。

宇都宮宏子先生の講義後、共通の事例2事例を検討。参加者は看護師のみならずセラピストも多数。リモートでブレイクアウトルームを使ったグループワークにも慣れてきましたが、対面がいいなあ・・・

2022年3月11日（金）

 始業時報告

- 先日お菓子の缶に入ってた「ふわもちさくらん」というお菓子、とっても好み♥でスーパー探すけど見当たりません😞
- 3.11 私は中学の卒業式の日でした。現実とは思えない映像がひたすらニュースに流れていたこと覚えています。

2022年3月10日（木）

今日は県ステーション協議会理事会で、他団体理事の皆様と意見交換会の機会を持ちました。こうした機会はこれまであまりなく、新鮮でした。せっかく多職種他団体理事さんが在籍してくれている貴重な協議会（あまり他では見られない）なので、そこを生かした活動をこれまでも模索していきます。

カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

 始業時報告

引越して大きいベッドになって喜んでたけど、結局娘が攻めてきて私と老犬は端で棒になって寝てる🐶


2022年3月9日（水）

県の暴力対策会議でした。次年度の事業の計画を協議し、大枠は決めました。
委員のメンバーがほぼ変わらず、活発な会議進行ができて進行役としても助かっています。
有識者の先生がどんどんハードル上げてくれるけど（笑）、ものともせず？やっています。
次の研修会は、埼玉の事件を受けシンポジウム形式に。また新たなステージへ！

 始業時報告

- 昨夜娘が携帯電話さわり、誤発信。24時間携帯にかけてしまいました😭ご迷惑おかけしました。その後ケンカして寝ました。
- 昨日母より作り置き届く。自分では作らないものなのでありがたい👍

2022年3月4日（金）

 始業時報告

昨日ちらし寿司を作り家族に振る舞ったと半年前に寝たきりだったご利用者から笑顔で報告。心が温まりました。

ICT ツールでコミュニケーション、というのはコロナ禍で出勤せずに訪問することが増えた時から始めました。最初はみんな消極的でしたが、今や毎日が楽しみになるほど、話題豊富。でも本当は、直接ワイワイしたいな～。

2022年3月3日（木）

 始業時報告

最近ドタバタで雛人形の事気づかないふりしてたら昨日になって娘が実家でゴネたらしいお雛様・・・そういえば私も今年はバタバタで、まだ出していない・・・
今度だそう（笑）

2022年2月24日（木）

コミュニケーションツールの業者さんとの打ち合わせ。最初にお世話になった A さんは今、営業のマネジャーとして後輩指導に当たられ、打ち合わせでも見守りに徹しておられます。大事だなあ・・・とそんなところにも学ばせてもらったりしています。

カコミは ICT ツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

 始業時報告

- 長女が婚活を開始しその話を聞くのが楽しくて仕方がない
- 今日は初めてロールキャベツを作る予定😊春キャベツをむしゃむしゃ食べるのが好きです。

2022年2月22日（火）

 始業時報告

アマゾンでn95マスクを買ってみたけど息がしやすくてほんとに効いてるのか疑問

教育委員会より、次年度の支援体制に関して打ち合わせに来てくださいました。

私が課題に感じているのは、やはり市教委に所属されている看護職が孤立しないか、訪問看護師など現場で協同する看護職同士、つながることが課題と思って来たので、そこを市教委の担当者をお願いして、TEAMSを使うけど、直接はなかなかつながれていないのが現状です。

解決しなきゃです。

2022年2月19日（土）

兵庫県訪問看護 ST 協議会の BCP 研修で最初のあいさつだけして、

暴力ハラスメント対策研修のほうに参加。今回はケアマネ事業所からも初参加で、会議メンバーが患者役をする初の試み。結果、参加者はロールプレイで看護師業や管理者役に没頭でき、よりリアルなプレイができたので、意見交換も活発になってよかったです。人を見るって参考になりますね。当センターでもまた定期的にしよう。

それにしても、委員の皆さまの迫真の演技には脱帽です・・・

2022年2月16日（水）

本日は全体研修会。たよりに書きました。

リスクマネジメントの取り組みについて、研修会で検討する機会があるので、改めてその意義を伝えます。端的には、法的対応の際に足るリスクマネジメントが目的です。私たちは医療専門職であり、現場で協同する介護福祉専門職に比し、エビデンスや予見に対する対策をとっているか、が焦点となりやすいためです。

そこで、提示した書式を使用する意義があります。①過失の有無 [防ぐべき事故だったか?]、②事故発生時の対処 [事故対応は適切だったか?]、③原因分析 [原因分析をしたか?それは適切だったか?]、④再発防止策検討 [再発防止策を検討したか?それは適切だったか?]、⑤事故後の家族への対応 [事故状況の説明など家族対応は適切だったか?] の5点について検討するわけですが、特に①、③、④が法的対応の際に重要です。また、②、⑤は民事訴訟の最も多い原因となるので、誰もが適切に対応する必要があります。そのために、当センターで起きた様々

カコミは ICT ツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

な事例を、全員が検討し、知識を増やし対応力を上げられるようにしていきたいと思います。
また、検討する事例は実際にあったものなので、当事者は責められ感を持ってしまいがちな
ので、検討する側は責められていると当事者が感じるような視点（〇〇したほうが良かった、〇〇
の対応はまずかった、私なら〇〇したなど）ではなく、誰もが当事者になりうるから自分事とし
て「予見」や「対策」を客観的かつその予見や対策の根拠を明確にした視点で議論してほしいと
思います。これを効果的に続けることができると、当センターのスタッフにはかなり高いレベル
でリスクマネジメント力がつくはず。
いっしょにやってみましょう。

2022年2月16日

始業時報告 101歳、98歳の方訪問行かせて頂き元気頂きました！

これ、すごくわかります。私たちって、訪問させてもらって、元気もらってるなと感じる事ばかり
です。「訪問行ったら元気になった」というコメント、あるあるですよ。

2022年2月15日

始業時報告 ロコ・ソーレ🍷観てたら24時間携帯鳴るなる😂個人的にはアイスホッケー
🏒決勝楽しみ😄平野さんは本当に凄かったね👏

2022年2月14日（月）

バレンタインだったので、チョコケーキを作って持参。甘いものは疲れたときにきく。
箱にサンクスメッセージもらってうれしい❤️

始業時報告 今日はバレンタイン❤️私はいつも自分用お酒🍷入りチョコレート🍫

コメント：私、あのシャリシャリしたチョコボンボンが好き！売ってないの。

2022年2月10日（木）

始業時報告

- 電気圧力鍋を購入しました。スイッチ入れておけば後は放ったらかしで出来上がるので重宝
しています。良いレシピがありましたら教えて欲しいです。
- 今月入って3回ヤカン空焚き・認知力低下・？なんでだろう

コメント：火事に気をつけて またはタイマー使おう

2022年2月9日（水）

始業時報告

朝新聞見て(声の欄)胸がキューとなりました😭

カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのが毎日楽しみ。

丸裸にされた母 忘れられぬ

主婦

(東京都 66)

6年ほど前に亡くなった母は、最後の7カ月間、訪問看護を受けました。当時90歳で要介護3。胃ろうは拒否し、栄養の大半は点滴でしたので、感染症予防のため、週1回は看護師さんに点滴のルートを交換していただく必要がありました。

清拭も含め週3回の訪問でしたが、母が回数を減らしたいと言いはじめました。看護の内容は同じでも、スタッフは毎回入れ代わり立ち代わり違う人です。母は意識がはっきりしていただけに、やせた体をさらけ出すのはつらかったと思います。

夏のある日のこと、私が部屋を離れた際、清拭のため母が丸裸にされていたことがありました。黙って耐えていたその姿は痛々しく、私は「母を守らなければ」と身構えるようになりました。ケアマネさんと相談し、週2回に減らしました。

訪問看護のおかげで、母は望み通り、自宅で最期を迎えることができました。本当に感謝しています。でも、夏の日あの出来事は今も脳裏に焼き付いています。訪問看護の日には私たちにとってやはり特別な日でした。本人や家族にとって、その日が日常であると感じられるようになればいいなと思います。

コメント

- ① 何かの本で読んだ家族の言葉、私たちの家に土足で踏み込まないでください。これまで丁寧に時間をかけて作ってきた家族の形があります。そこを土足で踏み込んで欲しくありません。この記事もその言葉も、ハッとしますね。
- ② 高齢者家族は言いたい事我慢されている事多い様に思います。お世話になってるからと。気持ち察知する看護力問われてますね。私はいくつになっても出来ていないです 😊
- ③ できてないと思えること、とても大事。そう言える●●さんはすてき

2022年2月8日（火）

始業時報告

N95で美容効果シワ伸ばしできないかな 😊 利用者宅に行く前に鏡見ないと顔のシワが恐ろしいことになっている

2022年2月3日（木）

コロナ第6波。サ高住のクラスター対応依頼があり訪問しました。

これまでのコロナ対応と少し違うのは、医療が必要となるような中重度ではなく、健康観察が中

カコミは ICT ツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

心であること。第4波で酸素だステロイドだ点滴だとやっていたので、ちょっと拍子抜けな気もしますが、軽症で済むのは何より。

2022年1月24日（月）

ワクチン接種翌日の朝は熱はなく、仕事に行けそうと思って電車に乗って、着いたらだんだんひどくなり発熱してきたので早退。帰宅後どんどん倦怠感がひどくなり、高熱となり、まる2日間寝込み、痩せたのはいいけど、こんなの定期的に受けるのはちょっといやだ。かなりいやだ。

2022年1月20日（木）

今日は3回目のコロナワクチン。またあんなしんどい副作用があるのか！？
もう嫌だ～

2022年1月19日（水）

全体研修の今日は、いつも連携している急性期医療機関の化学療法室から、化学療法認定看護師に来てもらって講義していただきました。

日頃気になる、化学療法のあれこれについてデータや文献と実際の事例に基づきとてもわかりやすく教えていただきました。その後、個別で意見交換。外来化学療法で通院する方への訪問看護導入が遅れがちだが、早い方がQOL維持に役立つことを伝え、事例も共有。後日メールに意見交換が有意義だと書いてあって、声かけてよかったです。

2022年1月12日（水）

ある医療機関の地域連携部署の看護師より、新規利用のご相談。難病で医療的処置はすべて自己管理できていたが目が見えにくくなり入院、原因が確定されず退院となるので自己管理のサポートをとの話。特定疾患受給者証や身障認定のある方ですが、費用面の問題もあって病院が必要と考える訪問看護の提供回数をクリアするのも困難。ご本人はそもそも自己管理をしてきた人なので、そこのサポートができる自宅生活できるのでは、と障害者支援につないでみることを提案。こうして看看連携で課題を共有し、解決策を一緒に考えられること、大事と思っています。

2022年1月11日（火）

当センターは（指定）兵庫県訪問看護教育ステーション（県内4か所）です。（以下県HP）

兵庫県では、実践的な研修等が受けられる仕組みを整備し、訪問看護師の定着促進・離職防止を推進するため、令和元年度より「訪問看護ステーション教育支援強化事業」を実施しており、要件を満たした訪問看護ステーションを教育ステーションとして指定しています。

今回は、内陸部の方から「これからステーションを立ち上げるのに同伴訪問研修をしてほしい」との問い合わせをいただきました。オミクロンがまん延し出しているけど、2月開設だそう。実習生は2週間の健康チェック表を提出してもらっているので、それをお願いし、お引き受け

カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

しようと思います。

2022年1月8日（土）

CB ニュース主催の診療報酬改定研修に WEB で参加。今回は医療機関向けですがその新たな動きや実際の事例を通して、これからの病院の動きを話され、とても興味深かったです。

病床稼働率を上げるには、私は訪問看護ステーションとの連携協働をもっともっと強化する政策が必要だと思っていますので、そのことを質問しましたが、病院でステーションを持つことはとても大事、との回答だったので意図が伝わらなかったか。

生き残り戦略 ①法人内連携②囲い込み③断らない、と話されていたのに強く共感。法人内に一社をつくるとか、介護サービスではなく便利屋でかわりニーズを自組織のサービスにつなげる、などの事例はとても参考になりました。③断らないは当然。

この研修が無料だなんてありがとうございます。CB ニュースさん。

2022年1月7日（金）

毎日電子カルテの記録を見て、気づいたことのコメントを残すようにしています。

この前それを見たスタッフが、気づいていなかったことに気づきましたと教えてくれました。

こういうのがあるからやめられない（笑）

2022年1月6日（木）

勤怠管理を電子カルテ活用してもっと簡便にできないかと調べている中で、なんとなくできそうなイメージができてきました。当センターは ICT 化かなり進んでいる方だと思っています。

でもわからないことや、もっとこんな風にできたら！ということも多くて、SE さんの友達がいて相談に乗ってくれたらいいのにな～（甘い）

2022年1月5日（水）

科学的介護実践のために、実際のデータを入力していますが、必要なデータがなかなか見つからず苦戦中。安定している状態の方へのアセスメントの視点、再度確認する必要がありそうです。

2022年1月4日（火）

あけましておめでとうございます。

普通に忙しかった年明け（笑）。睡眠時間 7 時間確保を目標に実践開始したら、頭冴え冴え。

こんなに違うんだと驚いています。みんな仕事増えて嫌がるかも。

2021年12月28日（火）

御用納め、ではありますが訪問看護では年末年始も訪問をスタッフが担っていますので、普通に日常が続く感じ。とはいえ、診療所の休診確認や緊急対応の確認など、各拠点の管理職を中心に毎年、確認を重ねるようにしています。年末に退院され利用開始の方もおられます。

**カコミは ICT ツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

あるべき型を常に確認し実践できるようにしていきながら、誰もが住み慣れた場所で最期まで過ごせる地域づくり、来年も邁進してまいります！皆様よいお年をお迎えください。

2021年12月27日（月）

新卒1年目Sさんが独り立ちの訪問をしました！と報告してくれました。

プリセプターのTさん（新卒4年目）とともに準備してきた成果。TさんのICTツールにある記録を引用しておきますね。Sさん、Tさん、がんばったね！これからますます楽しくなるよ！

今日はSナース初めての単独訪問予定です！利用者さんのご家族に「新人とは思えない。1人で大丈夫です。」と太鼓判押しいただきました。私の方がドキドキしています❤️ファイトー！

2021年12月27日（月）

先週は緊急携帯の管理職用を1週間持っていました。「緊急を起こさない」ために普段しっかりと対応して利用者さんが不安にならない対策をし、問題をつぶしておくのがうちのやり方。

12月4週目に入り、新規利用の相談がひっきりなしです。そして何かしら重点的なケアが必要な人が多いのも特徴です。土日たくさん訪問に行ってくれています。土日に色々な相談の連絡があり、ファーストとセカンド携帯を持つスタッフ同士、そして普段担当するスタッフとも相談して、利用者さんが安心できるように対応をしてくれます。そして昨日のようなマイナス気温の夜にも緊急訪問に行ってくれたスタッフがいました。感謝。

2021年12月24日（金）

今朝、夫からクリスマスプレゼントは何がいいのと聞かれ、ええっ！？うそ！くれるの！？とびっくりして舞い上がりました（笑）。イブが金曜日というのは珍しいですよ。若い時なら喜んでいたと思いますが、特に何も予定はなし。

今日は科学的介護実施に向けた会議。さくさくと進んでいて、次年度からのトライアルに間に合いそうです。私は保健師で訪問看護師なので、方向は間違っていないと自信をもっているし、多職種の管理職からの意見も活発に出るので、着々と進んでいます。

2021年12月23日（木）

毎年恒例、自家製シュトーレンを持参してみんなに食べてもらいました。

好評なので調子に乗って毎年持ってきています。売れるよ！と言ってもらえ、また調子に乗りそうです（笑）。みなさまいつもお疲れさま。

2021年12月23日（木）

新卒Sさん、先日は病院の新人集合研修に参加させてもらっていました。

新人教育担当の次長さんからうれしいメールをいただいた、と係長が教えてくれ一緒に喜びました。こうした連絡をくださる教育担当次長さんに深く感謝しております。

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

先日の倫理研修、担当していた CNS（注：専門看護師という大学院教育修了者）も、Sさんが一番しっかりしていた！と絶賛していました。
また、一緒に学び合って良い刺激を与えて頂ければ・・・
1月の研修も楽しみにお待ちしておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

2021年12月22日（水）

主任が受けた、昨日夕方の電話相談。

悪性疾患で、最期を迎えるにあたり何とか家に連れて帰りたい、病院の窓口に相談しても怒られる、どこに連絡したらよいかわからず、ホームページで大勢の職員の画面を見て何とかしてもらえるかも、と思い連絡した、と。うれしかったです。自宅での看取り希望の方から相談いただいたときは、急な相談であってもスタッフの協力で確かにどうにかになっています。

2021年12月21日（火）

うちの1年目新卒看護師のお誕生日。始業時報告にスタッフからのメッセージが面白すぎました。「おめでとう🎉23歳！〇〇さんの2倍+一回り+2年生きてる△△より😭」
20代から60代まで幅広い年代がいるのは、うちの一番の強みかも。

2021年12月20日（月）

今日は一人の看護師がインターンシップに来てくれました。

私は本部で一日中、会議だったのでじかに話がし高いところですが叶わず、係長がしっかりと対応してくれました。一緒に働けるといいなあ・・・

2021年12月17日（金）

県ステーション連絡協議会代表の立場で神戸市と神戸市内の訪問看護ステーションがつながる仕組みのための話し合いに参加しました。西宮でそうした仕組みに携わった経験を生かした提案もでき、また協議会代表の立場で神戸のステーション窓口となる人の援護もできたので、役割は果たせたかなと思います。知らない人ばかりでいやだなあと思いましたが、大丈夫でした(笑)

2021年12月16日（木）

ある医療機関の地域連携部署から、「うちはケアマネからの依頼でしか指示書は出せません」と言われた、と主任がびっくりして報告してくれました。

急性期医療機関は在院日数がどんどん短縮化、一方では医療依存度が高くなり、高齢の人が家で器具や薬をかなり細かく管理することが必要になっていますので、退院直後の2週間が安心安全安定して家で過ごせるかどうかの分かれ道だと思っています。制度でも「特別指示書」で医療保険で2週間訪問看護が入れる仕組みになっていることから明らかなんです。

この病院は訪問看護との連携がほぼなかったのかもしれないね。

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

私たち側も、病院の特徴を知って連携する事、大切です。

2021年12月15日（水）

午前中は兵庫県委託事業の暴力対策会議。司会進行もツボを押さえられるようになってきたかなと思っていますが、そんな中、県の担当者が変更となったことでの修正や確認が必要となり、長年チームとなっている会議のメンバーの結束もあり、よい方向に話が進む、という流れができていて、それが嬉しかったです。

昼からは、全体研修でラダーを使った事例検討会を開催。先日レクチャーを受けた常勤スタッフがファシリテートを頑張っていました。今回、スタッフの反応も「へえ。これを見て苦手なところがわかって、何を勉強したらいいかわかったら助かるわ」という感じで、良かったよう。年に3~4回は継続の予定なので、磨いていきましょう~！

令和3年12月13日（月）

新卒1年目のSさんが、利用者さんにすばらしいセルフケア支援をしていました。ブログから引用しておきます。

最近の訪問で、嬉しかったことをここに書いておきます！ 創傷処置をきっかけとして、継続して訪問している利用者さんがいます。セルフケア習得に向けて、奥さんに処置の方法を伝えるために手順書を作成しました。できるだけ、わかりやすいように工夫をしてお渡ししたところ、すごく喜んで下さり、これで安心と言ってくださいました。家族や本人のセルフケアがどこまでできているのかを評価して、援助の必要性を考えていくことの大切さを改めて感じました。

2021年12月11日（土）

在宅ケア学会に何年も入っていて、たまに一般口演演題を出しているくらいだった。

今回、訪問看護師にとってめちゃくちゃうれしい企画があり、入っていてよかった！と思ったら、会員以外でもOKだった（笑）。

それは、テレナーシングの研修会。エコーの事前学習とテストを受けるという苦行をなんとかクリアし、今日参加することができましたが、素晴らしい内容でした。北海道のはまなすさんという訪問看護ステーションがエコーを使ったアセスメントをされている事例を話されていたのが、一番響きました。実は当センターでもポケットエコーを活用したいと思い情報を集めていたもので、とても良い機会でした。次は自分がまずは研修受けて実践してみようと思います。

2021年12月8日（水）

午後から看護実践能力のラダー（JNAラダー）を使った事例検討を継続するのに、ファシリテータ養成が課題でした。今回初めて常勤スタッフにレクチャーする機会をつくれました。

ラダーの意義はだいたい理解しているのだけど、ファシリテータになった時にスタッフにどうかかわるか、どんな話の持って生き方をしたらいいか、に迷うだろうと考えて準備したのですが、特に

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

リアクションが良かったのは、学習内容編を使って具体的にラダーレベルⅢで理解しておくべき内容を確認した時でした。看護師の倫理綱領や看護師の業務基準、ほか法律に関連した内容の理解も網羅しておくことが求められる、とわかったよう。

次の事例検討会ではきっと、効果的にファシリテーションを進めてくれると思います！

2021年12月6日（月）

今日はインターンシップに1人、来てくれました。

訪問看護経験者で、ホームページを見てここで働くことを希望してきてくれました。

と言うわけで、このブログも頑張って更新します（笑）

2021年12月3日（金）

毎日、電子カルテの記録を見ながら特に意思決定支援やその人らしさを支えるところでの支援について、気がついたところをスタッフに伝えるようにしています。

内部コンサルテーションのようなものですが、こんな役割ができることも、大規模なステーションの強みだと思っています。

昼からは、兵庫県が看護協会に委託している、訪問看護推進会議でした。

今年度、兵庫県看護協会に訪問看護総合支援センターができ、これまで看護協会の役割であった業務が支援センターの役割になった関係で、この会議に関連したことが変わっていたので、その説明をしてもらいました。有識者の先生たちから質問が出ていたし、私もわからないところが意外と多くあったので、説明を聞いて少し整理できました。

2021年12月2日（木）

今日で常勤スタッフの面談は最終日でした。

みんな、時間調整しての参加おつかれさまでした！

目標達成するきっかけの一つになっていたらうれしいです。

2021年12月1日（水）

午前中は所長会。

午後からスタッフに令和3年度の介護報酬改定の資料を使って、当センターにおけるリハビリ支援の方向性について話しました。何年も言っていることは変わっていません。

訪問看護・リハが長くかかわるだけでは利用者さんのプラスにはならない、その人の生活を見ながら一人ひとりがより安心して過ごせるために必要なことの理解を増やしていきつつ、その人なりの自立を支援する。スタッフが納得、腹落ちして仕事を進めていけるよう伝える事に、心を砕きます。

2021年11月29日（月）

午前中は今週水曜日にスタッフに話す、リハビリ支援のあり方、当センターの方向性を整理して

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

可視化する作業を。昼からは全国訪問看護事業協会の研修委員会にリモート参加。
意見を出すと役割が回ってきました（笑）、がんばる。

2021年11月27日（土）

午前中は、兵庫県看護協会主催の看護管理者交流会にリモートで参加。

今の大きな流れは、医療法人内で病院や施設、在宅のサービスを持ち、人事交流、人事異動しながら人材育成をする、ということらしい、とわかりました。とはいえ当センターの強みは全国での有数の大規模ステーションで、長年の経験や実績から様々な取り組みにチャレンジを続けていることだとも認識しました。出席していた看護次長さんが、認定看護管理者教育課程で私が抗議した時に質問してくれた人で、声をかけられ気づきました。こういうの、うれしいです。

2021年11月25日（木）

昨日は、近畿ブロック訪問看護ステーション連絡協議会交流会でした。今年は兵庫県がホスト役だったので、私の方で司会進行をしました。近畿は大阪が全国的にも大規模な取り組みを訪問看護協会がしていて、その話は大変参考になります。また滋賀県では看護協会の専務理事が訪問看護総合支援センターの担当となり、県を巻き込み訪問看護の推進を図っています。今日はコロナのほかにも、具体的な各団体の取り組みを知ることができました。

兵庫県も頑張ろう。少しずつですが現場が参画できる組織に変わりつつあります！

2021年11月24日（水）

月曜日は、インターンシップに一人、来てくれていました。

いつも主任が計画を立ててくれます。訪問同行後に色々話もできました。

いっしょに働けるといいなあ、とみんなが言っていました。

2021年11月22日（月）

大学の栄養学教室にいる管理栄養士のTさん。平成25年の訪問看護ステーションの多機能化モデル事業からずっとつながっていて、在宅療養者の栄養管理を研究し続けているTさん。

今回は新たな研究の説明に、教室の教授であるF先生（医師）とお越しになりました。

Tさんが大学院生の時からの付き合いで、今回F先生がTさんを高く評価されている話を直接聞け自分のことのように嬉しかった。そしたら、Tさんから「山崎さんのところに行ったおかげで日ごろは寡黙な先生があのようにお話しされ、驚きました」と連絡が。応援しています。

2021年11月20日（土）

今日は日本産業精神保健学会でシンポジウムに登壇しました。

シンポジウム1 c02「コロナ禍の現場で何が起きていたのか？一病院・介護施設・障がい者雇用・在宅ケアの現場の当事者が語る過去と現在、そしてこれから」をテーマに、4名が現場の話をして、ディスカッションする内容。障がい者雇用の現場からは「日本で一番大切にしたい会

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

社」大賞をとった ATU ホールディングス株式会社の岩崎さんが登壇されていて、その経営理念や職員とのかかわりなど、そのお話に引き込まれました。

準備大変でしたが、質問もたくさんいただけて、貴重な機会をいただき感謝です。

2021 年 11 月 19 日（金）

午前は看看連携研修の最終カンファレンス。

午後は県ステーション協議会の訪問看護部会。今回、WEB コンテンツを導入しその具体的な活用の話を進めています。私は契約書や ID 管理表を作成し地区ブロック理事さんたちに配布したり、ID 管理も。また、業者さんと連絡とって初めての人たちが使い始めのハードル下げる動画を作ってもらって配信したりと、種々の事情、訳ありでこまごましたこと苦手なのに頑張っています（笑）。

2021 年 11 月 18 日（木）

いつもリモートカンファレンスをしている急性期病院から、看看連携研修に来てくれています。毎年、10 名以上が当センター（サテライト含む）で実習し、看看連携の大切さに改めて気づいてくれ、訪問看護って面白い、すごい、楽しい、そして病院でもっとしておくべきことは、など振り返って持ち帰られます。当センターはこうしたたくさんの実習生が来ます。都度、協力してくださる利用者さん、スタッフに感謝しています。

2021 年 11 月 17 日（水）

法人の科学的介護推進チームを取りまとめています。

先週は、アセスメントツールの評価ごとにエビデンスを可視化したサービスパッケージが導き出されマネジメントする職種やサービス提供する職種が、利用者の暮らしに根差す医学的管理の必要性を理解できればいいなと思っています。これができたらすごいんじゃないだろうか。

2021 年 11 月 16 日（火）

一日ずっと面談でした。話は違うけど、カウンセラーさんってもっと大変なんだろうな〜と全員の面談が終わって、しみじみ思った今日一日。

にしても、みんな毎日お疲れ様です〜。ほんと、ありがとうございます。

2021 年 11 月 15 日（月）

ちょっと早い終活のため断捨離週間にした先週 1 週間。日ごろできないことを集中してできました。働き続ける中で、こうして時間をとり自分のためになる事をして欲しい、ってのが長期で休もうを推進する理由です。大規模だしなんとかなる、これをうちの強みにして人を呼び定着させたい、なのでやる気のある人はぜひ来てほしいし、ここで頑張ってもらいたい、と思います。

今日は朝から本部で会議、午後から理事長面談でした。

**カコミは ICT ツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

2021年11月5日（金）

今年度、積み残している課題として、介護予防リハビリの方の支援の方向性検討と機能強化型Ⅰ訪問看護ステーションのセラピストに求められる役割の可視化、そして看護実践能力のラダーレベルを使った事例検討会のファシリテータの教育（新卒訪問看護師3年目以上を含む常勤スタッフ）があります。ステーションの方針のことなので、私から皆に直接話をします。とはいえ、ラダーのファシリ、レクチャーはしたことないから、悩む。

2021年11月2日（火）

今日も面談の日。昨日気づいた課題に急ぎ対応調整。

今日は新卒訪問3年目と1年目もいます。新卒が入職する訪問看護ステーションになって、みんなと一緒に学ぶ、教えるための学びを絶やさないと、いった風土が出てきたように感じていて、訪問看護はそれだけで楽しくてやりがいのある仕事なので、そこがプラスされると強みが増えるあとと思っています。課題ばかり見つけるのは、良いようで悪い癖かも（看護職みんな）。

2021年11月1日（月）

今日から常勤スタッフの面談が始まりました。

キャリアサポート面談、と呼びますが、ラダーレベルや社会人基礎能力、臨床実践能力などを自己評価し、課題をまとめたレポートをもって面談します。いろいろな話が聞ける機会でもあり、1人1人、しっかりと面談をやっていきます。

2021年10月29日（金）

昨日は、急性期病院病棟と地域連携とのリモートカンファレンスでした。

週1回実施しているこの会議、今回の議題は、がん末期の方の意思決定支援を病院として支えることについて、在宅を知る訪問看護師と一緒に考えたい、というものでした。

ACPシートを作成されていて、看護師が聞き取りながらゆっくり確認する、退院となってしまう時間切れになると思えば訪問看護に橋渡しして看護をつなぐ、などの解決策を共有しました。今日みたいな機会が増えて、看看連携をもっとしよう！と気づいてもらえたらうれしいです。

2021年10月28日（木）

利用者さんからの電話対応について、事務員さん含め、悩んでいました。

これは、入院時の薬剤調整によって病状がかえって不安定になったものと思われます。

生活することに本人が困っているので、今の主治医に、ここ数か月の経緯を知ってもらうところからの再調整をしていきます。

2021年10月27日（水）

午前中は所長会。月2回としていますが、制度に左右される事業なので、運営にかかる決め事や、起きている問題などにタイムリーに解決策を講じられるよう、そしてより効果的で効率的

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

な方法をとれるよう、話し合っています。

午後からは、看護協会で訪問看護総合支援センターと県ステーション協議会の合同会議でした。頭の切り替えが毎日大変・・・

2021年10月26日（火）

午前中は、全国訪問看護事業協会が厚労省から委託を受けている「訪問看護人材養成研修会」ファシリテータ打ち合わせのリモート会議。というか、大規模なので業者が入り当日のトラブルに備えた連絡先や機器操作の確認、専用LINEグループの確認などでした。いろいろ経験でき勉強になります・・・

2021年10月25日（月）

午前中は県ステーション協議会の管理者育成委員会がリモートで。

そのあと昼からは本部で会議。そして今日は、認知症看護認定看護師教育課程の方からのレクチャーを受ける日。しかし、機器の準備が不足してうまく他拠点に画像が配信できず、せっかく準備してもらったのに・・・。とはいえ、内容は訪問看護に役立つものだった様子で、資料もデータでくださったよう。活かしますね！

2021年10月22日（金）

昨日から、兵庫県看護協会認知症看護認定看護師教育課程の実習生さんが実習に来ています。

3名ともが近隣の医療機関の方なので、これから連携していけそうでうれしいです。

スタッフは、認定課程で学ぶ看護師、というところに食いつきがよく（笑）、認知症の方への対応で日頃からスタッフ間や医師と相談して対応していても、なかなか解決できないことを相談していました。

2021年10月21日（木）

昨日の午後は、私が本部で会議に参加している間、全体研修でリスクマネジメントについて学んでいます。実際の事事例や、自然災害時の自分の動きをシミュレーションして、意見交換するなど、様々なリスクに備えた準備を継続して進めています。

2021年10月20日（水）

午前は県 ST 協議会の管理者育成委員会で間違いやすい制度のことなど、事例を通じて広報周知するようなペーパーを検討。

雑談の中で、入院になった利用者さんの看護サマリを医療機関に送ってるのに、退院サマリが来ないと思ったら、ケアマネあてに来ていて知らせてくれなかった、という話があり、あるあるだよねとの話になりました。私だけが悶々としていたわけではないんだな。

午後は本部で会議でした。

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

2021年10月19日(火)

午前中は訪問看護の担当事務と予算の打ち合わせ。

午後はPOOマスターの活動の一環で、医療機関向けのWEB研修でPOOの話をさせていただきました。相手の顔が映らない設定のWEB研修は反応がわからないので、前にも書きましたがやっぱり苦手。でも、いくつか質問もあったので、関心持ってもらえよかったです。

2021年10月18日(月)

今日は全国訪問看護事業協会のWEB研修委員会でした。

忙しさにかまけてすっかりミッションだった動画視聴を忘れていた私・・・

担当の方からは、「山崎さん、待ってるので見て意見が欲しいです!」と念押しされました。

ゴメンなさい・・・でも動画5時間は長いなあ・・・とってしまう不真面目な私でした。

2021年10月16日(土)

兵庫県委託事業の訪問看護師訪問介護員等が受ける暴力ハラスメント等防止対策会議主催の研修会。今年は私も登壇してこの対策の経緯や進捗を報告させていただきました。

兵庫県からも制度の情報提供がありましたし、研究者である三木先生、弁護士の福田先生からの講義も。参加者はリモートで200名を超え、うち7割以上が初めて研修を受ける人たちでした。まだまだ知られていないこの事業。推進を継続していきます。

2021年10月15日(金)

新たな依頼が増え、新しい訪問看護利用者さんが増えています。

様々な状態の方がおられ、生活される状況も一人一人異なるので、オーダーメイドでかかわって利用者さんやご家族の思いや願いを実現できるための、訪問看護がかかわる方向性を介入者で共有し、同じ方向を目指しケア提供することが大事だと思っています。

今日はその話し合いをチームリーダーの管理職2人とつめました～

いつも忙しいのに文句も言わず仕事してくれてる二人に感謝。というか、みんなそうなんです。みんなに感謝。

2021年10月14日(木)

今日は、コロナ禍で訪問看護ステーションがスタッフのメンタルヘルスをどう守り、どう動いたのかをディスカッションする学会で開催されるシンポジウムで話をする準備をしていました。

1年以上前のことから振り返って、考えをまとめて、それを可視化する。

大変な作業でしたが、良い機会になりました。

2021年10月13日(水)

今日の所長会では、本部より総務課長にお越しいただき、会計に関するレクチャーをしてもらい

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

ました。所長たちからの意見も活発に出て意見交換できて、有意義な時間になりました。

2021年10月12日（火）

今日は急性期医療機関との看看連携WEBカンファレンスでした。

週に1回、実際に集まるよりも手ごたえを感じています。なんでだろう・・・。

今日もこんな連絡をいただきました！めっちゃうれしい！

病棟のスタッフ・師長ともに共有できる喜びで活気づいています。

先日の事例提供者も「良かった！楽しかった。」情報を共有し直接、相談できる喜びを感じておりました。引き続きよろしくお願い致します。

2021年10月8日（金）

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の訪問看護部会がありました。

繰り返し書いていますが、兵庫県はとても広くて、圏域ごとにブロック理事がいて、その人たちと一緒に課題を共有して解決策を話し合ったりしつつ、訪問看護の発展や質向上を目指しています。コロナ禍でWEBでの会議になっていますが、月1回2時間、いつも活発な意見を出してくれるので、進行役は大変でも使命感持ってやれます。大きな取り組み、加入ステーションが使えるWEBコンテンツを導入！ここから理事さんたちのさらなる協力で、地域の仲間に広げてもらいます。

2021年10月7日（木）

実習に来ている看護大学学生の間カンファレンスに参加しました。

学生は一人の利用者さんを受け持ち2週に2~3回訪問する中で、看護計画書立案のためのアセスメントを関連図やアセスメント表を使って深めている様子で、記録は相変わらず大変だなあと感じます。家で過ごすことの良さとか、事業所の中でスタッフが様々な職種と連携している様子などが聞けると、同行したスタッフはうれしいよう。利用者さんも学生さんの訪問を喜んでくれる人が多いです。

2021年10月6日（水）

兵庫県看護協会「認知症看護認定看護師課程」で学ぶ3名の看護師がステーションに実習に来られます。そのシラバスの確認や実習生の属性などを共有し、より効果的な実習にするための打ち合わせを、リモートで行いました。コロナ禍でリモートでの会議や打ち合わせが当たり前になり、訪問看護ステーションにとってはとても助かっています。

2021年10月5日（火）

経営改善会議が法人本部でありました。

カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

2021年10月4日（月）

兵庫県が招集する「訪問看護推進会議」がありました。

前にも書きましたが、この会議は県が訪問看護の推進のために看護協会に委託をしているもので、これまでには定期巡回随時対応の推進や、地域での出向制度、新卒訪問看護師教育プログラムなどを検討してきました。今年は看護協会に「訪問看護総合支援センター」が立ち上がり、この会議はその管轄に。これまでと違うので、ちょっとイメージしにくいなあ・・・

2021年9月28日（水）

コロナ禍で中断していた急性期医療機関との退院支援の定例カンファレンスが、リモートで再開されることになりました。地域連携部署の課長さんが頑張ってくださってセッティングが叶った貴重な機会。再開第1号は当センターサテライトでお看取りの支援をさせていただいた、若い利用者さんの振り返りでした。病棟スタッフが、ものすごくこの方のことを気にかけて送り出され、ご自宅でそう過ごしているのか、とても気になっておられたようです。家でのご家族とのいきいきした様子や、最後の様子などを聞かれ、涙ぐまれていました。訪問看護から病棟に、もっともっとフィードバックしなきゃいけないと、強く思いました。その仕組みをもっときちっとつくろうと思います。

2021年9月27日（月）

訪問看護で看取りをご支援させていただいた方の看護実践を、みんなで振り返りました。周りの人にすごく愛されていたAさんの最期に関わらせてもらい、みんなが何かしら教えていただいたり、気持ちを受け取っていたり、といったことがわかり、改めてすごい方だったんだと皆が振り返っていました。こんな気持ちになれるのも、訪問看護のいいところです。

2021年9月22日（水）

チョコケーキは好評のうちに食べられました～よかった

POOマスターとして医療機関のスタッフにPOOの知識を伝える機会をいただき、今日が打ち合わせ。うまくいくといいなあ。

2021年9月21日（火）

今日は一日本部で会議。こんな日が一番疲れる。

疲れすぎて家に帰ったらチョコケーキづくりたくなって、作りました。

明日みんな喜んでくれたらいいな～

2021年9月16日もひとつおまけ

リモートで新卒4年目と1年目が参加した、ある大学の就職説明会で当センターが一番人気であったと先生からの嬉しい連絡。なんと半数以上がうちの就職したいとの希望を出していたと。若いパワーには若いパワーで、だね～と盛り上がっています。

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

2021年9月16日おまけ

気むつかしいと思っていたある主治医。

利用者さんのお誕生日にケーキを持参し往診に現れたと聞き、皆大騒ぎ（笑）。

ツンデレは効果的？

2021年9月16日（木）

今日もご自宅での看取りをお手伝いした方の振り返り事例検討会（ポジティブ事例検討会）。

新卒3年目スタッフが事例提供者でした。

この事例のここがすごい！というところでも、良い意見交換ができてるなあと嬉しかった。

事例提供スタッフの感想もよかった。やっぱりポジティブ事例検討会、いいです。

看取り支援は、本人家族と一緒にするものなのだと思います。
関わることでしんどい事も多かったですが、すごく勉強になりました。
先輩の話聞く事で、自分の気持ちが整理されていってすっきりしました。ありがとうございました



2021年9月15日（水）

今日は全体研修の日。今年はラダーを定期的に行うので、今日はラダーレベルを見るための事例検討。みんな、楽しかった～と戻ってきました。集まって話す機会が減ってるからね。

楽しいのが何より。

2021年9月13日（月）

ネットまだ動きません。朝のZOOM会議できないし、電子カルテ見られないし、情報共有ツールが使えない。

2021年9月10日（金）

インターネット環境の改善のために、事務方がいろいろやってくれたけど、何ともならなかったみたい。

午後から、リモートで県ステーション協議会の訪問看護部会だったけど、何とか途切れず行けました。部会は盛りだくさんの検討事項ながら、スムーズな進行に理事さんたちの協力を得ているんなことが進んだので、よしとしよう。頭の切り替えが疲れる（笑）

2021年9月9日（木）

ポジティブ事例検討会

お一人暮らしでご自宅で最期を迎えたAさんへの看護。振り返って、意見を出しあって、グル

カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

ープでも話し合っ。事例提供したスタッフから、こんなにいろいろみんなが見てくれているんだとわかり、それも良かったとの感想。そう。みんなが気にかけてる。進行している私がうっかりうるうるしそう。

2021年9月8日（水）

利用者さんへの満足度アンケート。

今年はいつもとは違う方法で、利用者さんや家族さん、スタッフも楽になり、集計も効率的にできる方法に変えました。常にもっといい方法はないか、が当センターの柱。

2021年9月6日（月）

ネット環境が不安定です この表示がよく出るようになっている。クラウドを走らせながら仕事してるので、事務員さん含めみんな、事務所で仕事にならない。

2021年9月3日（金）

当ステーションは、兵庫県の指定する教育ステーションの一つ。

圏域の他ステーションとの同行訪問や研修実施のミッションあり。

今回は、同行訪問に関して圏域の医療機関にもお知らせすることにし、管理職が病院に説明に行っています。看護協会の看看連携研修が中止になる中、コロナ禍でも看看連携を進めるのに役立つといいなあ。

2021年9月2日（木）

学生実習の中間カンファレンスに入る。

コロナ禍での実習なので、体調確認は2週間も前から記録してもらい、かなり厳しく見ている。

1日の訪問は1件。でも2週間ある実習で事業所内での動き含め、いろんなところに関心持って、実習してるなと思いました。訪問は楽しい、との感想はいつもながら嬉しいです。

2021年9月1日（水）

サテライトに入職した男性スタッフへのオリエンテーションを実施。

利用者さんの担当も始まり、10月からは緊急当番も。

疑問なこと聞きつつ、大切なことを伝えた。

〇係長からいつも、「最初の頃は言われたことが理解できなかったけど、今になってよくわかる」と言われる。都度の疑問が解決できるだけでもいいかな～

2021年8月30日（月）

周辺で家族のコロナ感染、の話が増えつつある。濃厚接触になれば就業制限になるが、家族間感染が増えている今、あれがなってもおかしくない、と気を引き締めて、標準感染防止対策をとる事、呼びかけました。

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

2021年8月26日（木）

システム選定のプレゼンを聞く。相手に伝わるように話すのって難しいねんなあと、改めて、人の話を聞いて感じました。日々精進しよ。

2021年8月25日（水）

訪問看護で解決するコロナ

保健所からの訪問依頼。資料見ると、療養期間明日で終了、35℃台低体温で入院希望だが、状態は安定している、家族が祝杯施設に行き1人になり不安。オンライン診療も受け、低体温で入院必要と言われているのに、何故入院出来ないのかと。先ず電話。

相手の不安を慮りつつ、知りたいことを尋ねる。

反応を確認しながら話を進めていくと、相手が安心して始めたなーとわかる。

さらに負担かけていないか、配慮しながら確認を重ねる。保健所や本人からのたくさんの情報からの見通しを立て説明すると、さらに気持ちがほぐれる様子が伝わって来た。

あとは、訪問時の留意点をつたえ、約束時間まで待ってもらうようにおねがいして、電話を置く。

訪問したナースは、本人さんすでに落ち着いてて、あの記録からは想像出来ませんでしたと戻ってきました。

訪問看護の専門性に任せてもらえるところを任せてもらい、私たちがナーシングを発揮することで、解決できる事があると、コロナ禍で経験しています。

2021年8月24日（火）

医療的ケアの支援を始めてもう何年か経ちます。

このたび、ICTを活用して情報共有できるような仕組みについて、お知らせいただきました。

ちょっとずつ前進。違う場所の看護職と効果的につながることで、さらに医療的ケアの支援が進むといいなと思っています。

2021年8月23日（月）

CBニュースの暴力ハラスメント研修に参加。

いつもは講義させてもらうほうの立場なので、他の研修に出て情報収集。

弁護士さんの話は分かりやすくとても参考になりました。

当ステーションでも準備ができてないこともあり、また考えなきゃ。

2021年8月20日（金）

保健所と話し合いをしました。

在宅医療現場での問題意識を共有できたことは前進。

保健所に持ち帰り検討されることになりました。

こうして気づいたことをフィードバックして、次につながられるように動くのも、在宅医療を良

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

く知る訪問看護ステーションの役割の一つだと思います。

2021年8月17日（水）

平成25年度に参加した厚労省のモデル事業「訪問看護ステーションの多機能化モデル事業」の際、一緒にスタッフとして協働した管理栄養士Aさん。こちらはフィールドを提供し、Aさんが研究を続けてこられ、博士号を取得されています。そのAさんに栄養管理の研修をお願いしました。リモートですが、計測の実習やとろみづけの紹介など、すぐ役立つ内容が盛りだくさん。スタッフの反応が良かったのも嬉しい。引き続き「口から食べる」を大事にしていきます。



2021年8月16日（月）

保健所に第5波 在宅療養支援の課題を投げかけていたところ、早速、もう少し詳しく話を聞きたいと返事がありました。次週になります。訪問看護ステーションネットワークの事務局さんにもお声掛けし、一緒に参加していただきます。

2021年8月15日（日）

24時間電話当番の担当者から。「警報が出ていてヘルパーが訪問に行けない。訪問看護師に来てほしいと介護者から連絡があり担当者に連絡。11時から訪問します」と。警報が出ていて大雨、しかもスタッフ自身の居住地域が警戒レベル3になっている中で訪問はできない。結果は天候が回復してヘルパーが訪問できることになったのですが、災害時の対応について、スタッフへの教育を再検討しないと・・・と思いました。

2021年8月14日（土）

管理者携帯当番の週末。大雨の土曜日。再び保健所からの依頼。待機中の管理者に連絡し対応。同行する医師が往診がながびいているということで、1時間近く雨の中自宅前で待機というアクシデントも。とはいえ、無事に家でできる限りの治療が開始されたよう。その間にも土曜日に訪問するスタッフからたくさんの訪問開始終了の安否連絡が来る・・・といったふうに、訪問看護ステーションは24時間365日の動きがあります。担い手のスタッフに感謝。

2021年8月13日（金）

11月にある日本産業精神保健学会。テーマは、新型コロナ時代の健康と労働～産業メンタルへ
カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

ルスにかかわる課題とその解決を求めて～。シンポジウムで、「コロナ禍で管理者の立場からスタッフの対応に苦慮した点をおまとめください」という依頼が来ていて、今日は座長はじめ参加者のリモート打ち合わせでした。振り返る機会と思って頑張ります。

2021年8月12日（木）

再び保健所からの依頼。

実際に対応してみても課題を整理できたので、それをまとめて保健所に投げかけたいと思います。

2021年8月9日（月）

在宅療養中のコロナ陽性者支援依頼が保健所からありました。

地域の陽性者数は第4波より多いものの、依頼は少ない状況。

通常の訪問を定期的には担わない管理職が担当しており、

ガイドラインを守って訪問。それで感染した事例はこれまで全くなし。

油断なく対応していきます。

2021年8月6日（金）

外は溶けるくらい暑い。異常気象いつまで続くのか・・・

こんな日の真っ昼間に、外に出て日がな一日活動するって・・・。

第5波の対応について、保健所と訪問看護 ST で会議があり、共有。

今回より ICT が導入予定となっており、より連携しやすくなりそう。

第4波の時に「アナログは限界。ICT化絶対進めてください」と要望してよかった！！

2021年8月5日（木）

10月に研修に来られる、兵庫県看護協会認知症看護認定看護師課程の打ち合わせをリモートで。

在宅療養を訪問看護で垣間見られたら、皆が病院での認知症看護について再考の機会になった

と帰られます。それだけでも実習していただく意義があるかなと思っています。毎年来られる認

定看護師課程の方々には、専門分野のレクチャーをしていただいたり、相談に乗っていただいたり

もしていますので、まさにWINWINかと。

2021年8月4日（水）

当センターでは、口から食べることをずっと続けることを目指していて、栄養評価や口腔ケアをしっかりとできるよう、アセスメントや連携をしています。

今日は、口腔ケアの実技を当センターのベテラン T 主任が実践、若手や新入職員に伝える機会を持ち、それを動画で配信する予定です。

2021年8月3日（火）

**カコミは ICT ツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

新卒入職後 4 か月間の振り返りの時間をとりました。

卒後 4 年目のプリセプターがしっかりと自分の経験を生かしながら、新卒に的確な支援をしている様子がわかります。積み重ねてきたことを、うち独自の視点で可視化して新卒育成の次につなげていく計画も。頼もしい～

2021 年 7 月 29 日（木）

ポジティブ事例検討会をやりました。看取りのパンフレットをどのタイミングで渡すか、についても話し合えました。ファシリした私も勉強になりました。以下、スタッフの感想です。

カンファレンス、もっと話していたいくらい楽しかったです😊ご参加ありがとうございました！振り返りしながら改めて感じたこと追記させて下さい。

●ご家族が看取りのパンフレットを教科書的に使って自分の中に落とし込みが出来たこと
→看取りのパンフレットは早めに渡しておいて良かった。

●看取りの場の方向性で家族が悩んでいた時に主任が入って下さって方向性が決まった(その後家族はぶれなかった)

→自分だけで抱え込まず、適切なタイミングで他のスタッフや上司に応援を仰ぐことも大切。と思いました

2021 年 7 月 28 日（木）

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会でブロック理事をになっておられた A さん。この前の総会で、「機能強化にしていくのに、悩みがいっぱいあって、どうしたらいいのか、相談させてほしい」と。

今日、電話で話をしました。お役に立てたようで良かったです。メールを載せておきます。

昨日は、お忙しい中お時間頂きありがとうございました。

機能強化ステーション運営のための人材育成に注力する必要性、スキルアップしやすい環境づくりの大切さを再認識させていただきました。

こんなに楽しい訪問看護！沢山のスタッフと思いを共有出来る職場運営を目指していきたいと思います。ありがとうございました！

2021 年 7 月 27 日（火）

7 年務めてくれたスタッフが、健康上の理由で退職。

コロナ禍で何もできないけど、デザートのお持ち帰りとか、色紙などみんながいろいろと心配りしてくれ、ステキな送別会でした。

彼女からのメッセージを載せておきます。

皆さま、本当にありがとうございました。皆さまに温かく迎えていただいて7年間。

山崎課長の訪問看護魂に魅了され、スタッフ皆さまの覚悟と情熱に背中を押してもらい、事務の皆さまには完璧なフォローをもらいながら充実した毎日でした。

カコミは ICT ツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

お忙しい中、色紙やおいしいプリン、お花などご準備していただき一生の宝物です。この時期にこのような形で去ることとなり、申し訳ありません。

どうぞよろしくお願いいたします🙏これからもお体に気をつけて下さいね。本当にありがとうございました🍀

2021年7月23日（金）

世間はオリンピックで盛り上がっています。

訪問看護は22日23日はスタッフ皆が訪問看護のための出勤してくれています。第1波から常に感染対策に気を配りつつ、自分が媒介しないさせない、を胸に頑張っています。

が、感染拡大はますます広がり、おそらくお盆あたりでまたまた第4波の時のように、在宅療養者が増加して、対応依頼が増えるのでしょうか。

療養施設増やしてくれれば、計画的な支援に入れるのになあ・・・

2021年7月21日（水）

午前中は、兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の管理者育成委員会（リモート）。その間にもサテライト事業所スタッフの介護休暇に関する相談などが入ってきます。午後からは県看護協会の訪問看護総合支援センターと兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の合同会議。これは看護協会です。今回は看護協会会長さんも参加くださり、抱えていた課題の解決の見通しが立ちました。

というわけで、幹部会議は18時前までもヒートアップ。やはり協会会長さんともなると情報量が違いますね。

2021年7月17日（土）

リモートで、鳥取県訪問看護ステーション連絡協議会主催の研修。

今回は、コロナ対応に関する話をしてほしいとの依頼でした。

60名もの参加者があって、たくさんの質問も。

地域での対応を話し合う時には、ZOOMのブレイクアウトルームで、あちこちにお邪魔しながら、質問を直接受けたり、意見をお伝えしたりもできました。今後うちでやるリモート研修の参考にさせてもらおう。

2021年7月15日（木）

電子カルテを見て、気になったことを二人の副所長と共有し、短時間でディスカッションするようにしています。スタッフと直接、看護を組み立ててる副所長からは、客観的な目線で自分たちが気づけないところを明らかにしてくれるので、自分にもチームにも良い効果があると言います。ほんとは直接スタッフとやり取りしたり、訪問したりしながら相談に乗ってもいいかな～と思うのですが、今のところはそれぞれのチームリーダーである副所長にゆだねつつ、ここぞと思

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

う時は直接かかわるようにしています。

2021年7月14日（水）

常勤スタッフが集合し、顔合わせと当センターの今年度方針を共有しました。

コロナ禍で集合研修を控えており、4拠点のスタッフが直接顔合わせする機会が減っています。そこで、一度集まって方向性の共有もしておこうということに。話を聞いての気づきなども簡単に書いてもらいましたので、これも参考にしつつ、今後の戦略を立てようと思います。

2021年7月10日（土）

今日は兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の総会。コロナ禍で理事が集まり委任状での決議。とはいえ、多職種が集まる機会、なかなかないので、会長さんの計らいで、1人ずつ、コロナ禍での各職種の動きやステーションとの連携などについて話が聞け、とても貴重な時間になりました。

総会後の研修は、人材育成のリモート研修をケアプロの教育担当長さんに。

当日までの打ち合わせはメールやリモート会議でした。

テンポよくトライ&エラーを教えていただき、日頃の育成のあり方を振り返って、これで良かったとかここは変えようとか振り返る機会になり、皆さんからも好評。良かった。

2021年7月8日（水）

POO マスター養成講座での実践計画の一つに、「医療機関からの要請を受けて排便に関するレクチャーの機会を持つ」としていました。今回、POO マスターのグループからのお誘いで、医療機関へのアプローチを行う機会をいただき、今日はその打ち合わせをリモートで。とはいえ、コロナ禍で排泄に関心持ってもらえる医療機関スタッフはいるのか？ネスレさんが協賛・共催で、告知もされると。

2021年7月6日（火）

訪問看護ステーションの収入源は1件1件の訪問提供の積み重ねによって得られる介護保険や医療保険の保険収入と利用者さんからの負担割合に応じた額。未収になる場合の対応について繰り返し検討を事務方には依頼してあるけど動きなし。えーなにになに！・・・あかんあかん。おおらかに。

2021年7月5日（月）

レセプト（診療報酬の請求書類）は医療保険の分はとてアナログで、ペーパーでの提出です（介護保険は電子請求）。この時期に前月分のレセプト請求書類を確認します。今回の確認分から、福祉医療の制度が始まり、複数の対象者さんが出ています。これは、兵庫県だけが対応できていなかった医療費補助制度でした。神経難病や自立支援医療などの対象にはならない障害のある子供さんなどの訪問看護費用の補助が受けられます。周知されていくことで、これまでは自己負

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

担額が高額になるから、とあきらめていた医療的ケアのあるベビーなどの利用が広がるといいなと思っています。

2021年7月1日（木）

新卒3年目のスタッフ、リフレクションの機会を持ちました。

今はすでに独り立ちして24時間当番や緊急対応も担ってくれるようになっていきます。また、彼女のパーソナリティから来る心地よさを利用者さん側が感じてくださって、ほっとする、という声もいただき、嬉しいことです。

さらに経験を重ねて、もっといろいろなことができるようになりたい彼女の後押しを、そっとできればと思っています。

2021年6月23日（水）

医療従事者のコロナワクチンの予約サイトでは予約が全くできず、県庁担当課に問い合わせ、近医での接種OKとの判断。

いつもお世話になっている先生に相談し、何とかスタッフの接種枠を確保していただきました。なんだかなーもう。みんな、訪問の合間合間に一生懸命、予約サイトにアクセスしては、落胆したり喜んだり。

県や行政からもっと早く状況の告知をしてほしい。私たち医療従事者、特に訪問看護師は感染対策が十分ではない中、利用者さんたちの命を守っています。

2021年6月22日（火）

新卒訪問看護師が今年も入職し、卒後4年目の元新卒スタッフTさんがプリセプターとしてしっかり関わっています。

今日は病院実習から戻った新卒看護師のOJTをどう進めていくか、チームの副所長とプリセプターと3人で協議、共有しました。

Tさんの話を聞いていると、新卒で入職して苦労してきたスタッフならではと感じるような話がたくさんあり、ぜひそれを可視化して、うちの新卒育成に活かせるようにしていこうと。

頼りになるスタッフに育ってくれてることが、嬉しいです。

2021年6月18日（金）

今日の午前中は、来週25日に行われる、都道府県訪問看護ステーション連絡協議会交流会のファシリテータの打ち合わせでした。これももちろんリモート。

主催は、全国訪問看護事業協会。例年は、事業協会の総会、研修会、都道府県訪問看護ステーション連絡協議会交流会、の流れでしたが、これもコロナ禍でリモート開催。

初めての試みなので、事務局の皆さまは大変だと思いますが、交流会は他府県の取り組みを知り、情報交換が直接できる貴重な機会です。よろしくお願いします。

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

2021年6月16日（水）

今日は久しぶりの訪問看護課全体研修会。とはいえ、リモート併用で。

当センターでは、JNA ラダーを活用しながら、看看連携推進と切れ目のない看護提供の実現を目指し、実践の質向上が可能となる教育の仕組みを作っています。

この仕組みと、JNA ラダーをもっと実践に活用してもらいたい、これを目的として研修をしました。

時々スタッフにつたえていくことで、効果的にラダー活用に取り組めると感じています。

今回も、みんなが書いてくれた感想には、ラダーがそうしたことにつながっていることに改めて気づけた、もっと活用していきたい、という声がたくさん上がっていて、嬉しかったです。

ちなみに、ラダーに関しては日本看護協会出版会の雑誌「コミュニケア」2021年6月増刊号「クリニカルラダーを活用しよう」にも少し書かせてもらっています。

興味があったらご覧くださいね。

2021年6月12日（土）

訪問看護ステーションネットワーク西宮の総会。

私は顧問をさせていただいており、あいさつのミッションがありました。事務局のAさんに注文あったらどうぞと伝えていたら、

「ぜひ、県協議会や事業協会での役割をお話いただきながら、事業所の横のつながりを大切にす
る活動の意義をお伝えいただきたいです。やまさきさんだからお話いただけることだと思います
❤️

ネットワークの新入会の方々が、ネットワーク活動の大切さを実感してほしいなー、と思いま
して🌸」というメッセージが。原稿貼っておきます。

本日は訪問看護ステーションネットワーク 総会の開催おめでとございます。

顧問で西宮市訪問看護センター管理者のやまさきです。

コロナ禍での訪問看護ステーションの動きは、まさに災害時対応だったと感じています。

皆さま本当にお疲れ様です。第5波への準備は大丈夫でしょうか。

さて、このネットワークは、皆さまご存じかも知れませんが、今から約20年前の2002年（平成14年）に立ち上がっています。私は2008年（平成20年）から4年間会長を、その後、2018年（平成30年）3月まで事務局をさせていただきました。

今日は10年のあゆみを振り返って、ネットワークでの活動を考える機会にさせていただけるといいなと思っています。

10年間の活動で大切にしてきたのは、訪問看護が多くの人に広く知られ、その能力をいかに発揮できる地域づくりをこのネットワーク西宮で実現したい、ということだったのかなと、振り返ってみて感じています。長年顧問をしていただいた菊池英彰先生には、「自浄作用を持つ組織になっていきなさい」とご指導ご支援をいただきました。4つの取り組みについてお伝えします。

カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

1つは、自治体が招集する様々な協議に訪問看護師の立場でテーブルについて自治体の政策決定に絡むことです。在宅療養や看取りが増えるからこそ、訪問看護だから気づく視点を自治体の政策に生かすべきだと思いました。当時行政は、「この会議は医師が、病院看護師が、ケアマネが入っているので」と散々言われ倒しまして、そのたびに、お時間くださいといって、役所に行つてぶ厚い資料を渡して訪問看護ができることや視点を伝えました。また、医師会の先生にもお願いに行きました。今では日本じゅうの様々な自治体の会議体に訪問看護師が出るのは当たり前前の時代になりました。

2つ目は、自治体の地域防災計画に訪問看護ステーションの役割が明示されることを目指し、自治体と協働して訪問看護ステーションの災害時マニュアルのワークショップに取り組んだことです。その経過の中で地域防災計画に明記されるというより、災害時も通常業務を継続できるステーションが増えることが、利用者にとって安心なのだ気づきました。看護協会出版会の訪問看護ステーションの災害対策第2版にこの取り組みが紹介されています。

3つ目は訪問看護師と考える、というタイトルにこだわりのつまった「看取りのシンポジウム」や市民祭りに関連した、市民への訪問看護の啓発で、今やネットワーク西宮の看板事業、定番に成長させてくださっています。

4つ目は、圏域ごとでステーションが協働してネットワーク活動をするにより、いざという時に助け合える関係を創りあげ、最初に申し上げた「自浄作用を持つ組織」づくりで地域の訪問看護の質を高めることです。

今私は、全国訪問看護事業協会や兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会で、看護師確保定着、質向上、暴力対策など、訪問看護のさらなる発展に向け活動していますが、今日お伝えしたように、このネットワーク西宮で管理者の皆さんと、時に厳しく、時に楽しく、同じ目標に向かってともに歩んだ10年間は、訪問看護推にかかわり続ける私の原点だし、宝物です。

まさかのコロナ禍や、制度の締め付けが意外に続く中、ネットワークで頑張っておられる皆様にとって、10年後20年後に、このネットワークがそうした宝物になりますように、心から皆様のご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

2021年6月10日（木）

日本看護協会出版会より、今後の企画検討のための打ち合わせを、ということで予定していたリモート会議。コロナ対応やら何やらで延期していましたが、今日ようやく実施。

頭の中で考えていることを相手に伝わるように文章化して、表出する。こんな機会をいただけて貴重でした。

アウトプット、やっぱり大事。インプットのほうが多くなっててよくなかったんだな。

カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

2021年6月9日（水）

コロナ禍で2月にあった2020年度の健康診断。

そして、2021年度のそれがまた今日。4か月しかたっていないけど・・・。

ちょっとだけ体重減ったけどまだまだだ（笑）こんなストレスフルな状況でも痩せない。更年期って痩せない。（らしい）

2021年6月7日（月）

7月にある兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の総会後の研修をお願いしている、ケアプロの教育担当専任Oさんと打ち合わせ。

県内各地域のブロック理事さんたちからの、「人材育成に関して話を聞きたい」との要望で、新卒訪問看護師育成に関する情報共有や交換を目的として、ある大学の先生につなげてもらったのがOさんでした。多分忙しい中でのお願いでしたが、快く引き受けてくださって、お互いに研修の具体的なイメージもつきました。当日楽しみ～

2021年6月4日（金）

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会と神戸市立看護大学の先生方で、第1波の時から現場アンケートや研修企画など、一緒にやっています。

今回、引き続き現場の管理者等へのアンケートを実施され、その結果概要を知らせていただき驚愕・・・

管理者の3割がコロナ禍で危険なほどのストレスを抱えていることや、実際のコロナ対応をしていない管理者の方がその傾向が高い、ということがわかりました。

これを踏まえ、どういった研修を組み立てるのか、意見をだしています。

さらに、特に地域で動く中、医療職でない従事者の感染対策の理解促進が急務と感じています。

2021年6月1日（火）

市教委の担当者の方が、今後の支援の打ち合わせのため、お越しく下さいました。

支援に入っている子供さんのことのみならず、今後の医療的ケアを必要とする子供さんの支援に関してや、ICTを使った連携のこと、訪問看護の意義や地域で果たしたい役割のことなど、いろいろなことをお伝えもでき、質問もたくさんいただき、良い時間でした。

熱心に担当して下さり、子供さんたち、親御さんたちも、心強く感じておられるのではと思います。

2021年5月26日（木）

兵庫県看護協会訪問看護総合支援センターと兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の合同会議、そして幹部会。

協会内で集まって話し合いました。県の組織を動かしていくこと、実際にやっていくのは本当に大変なことですが、事務局の方々や幹部の皆さん、各圏域ブロック理事のみなさんと助け合いつ

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

つ、

少しずつ、現場の要望や疑問に対応することが可能になっています。ここでもICTツールが本当に役だっています。

2021年5月24日（月）

老健施設のヘルプに入りました。

これまでヘルプに入ったスタッフや管理職は、同じようなところが気になっていました。訪問看護事業の管理職で、具体的にどう支援すれば役立つのか、話し合いもできました。

2021年5月21日（金）

兵庫県の暴力対策検討会議をリモートで。

10月の研修に向けた協議を進めました。兵庫県はいち早く訪問看護、訪問介護員の暴力対策に取り組み始めましたが、有識者の教授によれば、発信が少ないと。

そこは県の担当者さんにも頑張ってもらいたいところです。10月の研修ではこれまでのあゆみを整理して発信する役割が課せられました・・・

振り返り期の機会だと思って頑張ります・・・

2021年5月19日（水）

午前中は元気で出勤。午後から言いようのない倦怠感と微熱・・・

どうにかこうにか帰宅して、そのあとから朝までずっと寝ていましたので、これを書いたのは20日の朝。

いやー。副反応おそるべし。コロナに感染したのか??と不安になるほどのしんどさでした。

スタッフが受ける時期になった時の調整を考えていたけど、希望時期に予約は取れないことが分かったので、どうするか考えないと。

2021年5月18日（火）

午後から2回目のワクチン。副反応が恐ろしい・・・

2021年5月14日（金）

昨日は午後から、兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の理事会がリモートでありました。

県の医師会理事で西宮でもお世話になっているM先生も理事でご出席。コロナ対応の現状と医療従事者枠でもコロナワクチンの予約困難な状況を伝えました。

こうして現状をタイムリーに伝えて、対応につなげられる可能性を増やすことも大切と思っています。

2021年5月13日（木）

法人内の老人保健施設でもコロナ陽性となる方が出ています。そこへの支援に入る必要も出て

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

いて、訪問看護の管理職は、保健所からの依頼による在宅療養者の対応、介護支援スキームでの在宅療養者対応、老人保健施設へのヘルプ要請に対応できるよう、体制を整えました。スタッフが通常業務を頑張って守ってくれています。利用者さんもセルフケアを頑張ってくださいます。

これはまさに、災害時対応の様相で、本当はさらに多くのサービス提供機関が在宅療養者支援ができればいいのになと思う一方、小規模なところで対応することのリスクヘッジが取れる状況でもないと感じています。

2021年5月7日（金）

GW 中も、管理職はコロナ陽性者対応やサテライト事業所の対応に追われていた一方で、スタッフ1人1人が、通常の訪問看護ステーション業務をしっかりと果たしてくれて、ステーションを守ってくれました。感謝。深謝。

2021年5月6日（木）

5月1日から新入職の非常勤スタッフが来てくれました。

精神科看護の経験豊富なスタッフ。訪問看護は初めてということで、うちで使っている複数のICTツールもぼちぼち使いこなしていただきます。

がんばれ～

2021年5月5日（水）

連休中も毎日保健所から在宅療養中のコロナ陽性患者さんへの訪問依頼があり、ICTツールで情報共有して、相談しながら対応しています。

しかも明方3時に電話が入ったりもあって、こちらも驚くような状況です。たぶん保健所が忙しすぎるのと、伝達方法がアナログなので効果的にこっちからの申し送りが伝わっていないんだろうと……。ICTで情報共有できたらめっちゃ早くて確実！

2021年5月2日（日）

連休中も当番を決めて管理職2名が保健所委託業務に従事中。

容赦なくどんどん依頼あり、医師、酸素業者さんへの連絡など担いながら、当番の管理職が頑張っています。ICTツールがめちゃくちゃ役だっています。入れておいてよかった。

2021年5月1日（土）

スタッフより申し出。ありがとう～感謝。

今後、業務上N95マスクを装着することがあれば、スタッフへの装着方法の指導などは出来るので協力出来ることがあれば言って下さい。（結核病棟勤務経験があります）

カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

2021年4月30日（金）

先生からのお返事

- 自分達が主治医なら山崎さんの言うのが適切やと思う。
- 問題は主治医のいない人。保健所所長が医師として治療に当たるのが望ましいけど無理だから、医師会で手挙げ募り、輪番制で対応しているところ。
- ただ、前に集まって協議した医師、訪問看護、薬剤師のチームで対応するスキーム、このタイミングでもう一度話し合いが必要と思ってる

ということでした。そうか。主治医でない人をこのスキームで診療したからと言って、主治医になるわけではない、と言うのを再認識。制度って難しい・・・

PM～訪問看護事業協会主催の暴力対策研修会の収録に、研修委員として立会い。

2021年4月29日（木）

コロナで連携する先生に投げかけ。

先生、悪くなってからの対応ではなくて、悪くなる事予測して前もっての準備しとく、がコロナの自宅療養者対応に必要でないですか？酸素とステロイドの点滴か内服と解熱剤とかをセットで自宅療養者の所に置いといて、看護師が主治医に報告して使用開始すれば、重症化を遅らせられるのではないのでしょうか？今の医師会と訪問看護ステーションの協力体制有れば、できるのではないかと思います、ダメでしょうか。

2021年4月28日（水）

AM 所長会で確認

- ゴールデンウィーク中の電話当番と、待機当番を決めた。
- この事業はあくまで保健師の代わり。
- 緊急当番の管理職が陽性者の対応しているときは、緊急時相談は各拠点の管理職へ
- ゴールデンウィークの緊急対応の体制をコミュニケーションツールで周知

2021年4月28日（水）

うちの訪問看護課のたよりに書きました。いま西宮はこんな感じです。

自宅療養が療養場所に加わった兵庫県。新型コロナ、西宮市での対応

コロナ陽性者はこれまで原則入院でしたが、4月28日時点で「自宅でも積極的な治療」にシフトしています。酸素導入とステロイド投与が中心で、状態安定すれば入院不要となります。ホテル療養は重症者治療をしており、明らかに治療場所が病院から地域へとシフトしています。

年末に西宮市に在宅療養者の支援スキーム構築のために、自治体と保健所、医師会、ヘルパー協議会などと協議の場を設ける旨要望し、年明けから調整を繰り返しました。医師会はいち早く協力体制を要請受けて作っておられました。訪問看護は手上げた事業所が保健所の委託で訪問する形です。

カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。

当センターでは陽性者対応を、私が窓口となり、管理職6人で行っています。ここ2週間は土日含め依頼や相談が続いています。

どれも「急激に状態悪化、酸素導入の支援、悪化のため往診同行」など、いずれも緊急訪問の様相ですが、何とか対応しています。

「西宮はすごい、他市ではまだ実現していない」と、陽性者の健康観察を朝から夜まで担っている看護協会の看護師が教えてくれました。これは医師会の先生方がいち早く保健所と連携されてたのが、ほんとに大きいと感じています。

保健所が混乱しており、土日でも依頼から数時間たっても詳細情報が来ないことが続きました。そこで、保健師が健康相談を受けている部分をまるっと担当し、急変対応も医師と相談して対応できることを保健所に相談しました。

この時すでに新規感染者が40~70名/日、入院は1人~5人/日、自宅待機者200人で、いつ来るか分からない依頼を、通常業務をしながら対応するには、健康観察を担う人数を決めて訪問看護で対応を任せってもらう方が良いと考えましたが、それは難しいとの回答でした…。

医師会の先生とこんな話をしました。「悪くなってからの対応ではなくて癌末期の人の麻薬みたいな感じで、悪くなる事予測して前もっての準備、例えば酸素とステロイドの点滴か内服と解熱剤とかをセットで自宅療養者の所に置いて、看護師が主治医に報告して使用開始できないか、今の医師会と訪問看護ステーションの協力体制で可能では。保健所から状態悪くなってると呼ばれて対応するのは限界来る。通常の在宅療養者の対応みたいにはできないか。元々主治医としてみている患者にはそれが可能だけど、そうでない場合が難しい。炎症性だとステロイドで悪化するが在宅では判断が困難…。前に一緒に協議した医師、訪問看護、薬剤師のチームで対応するスキームをこのタイミングでもう一度話し合う必要あるね」と先生方は考えてくれてます。ほんとに心強い。

コロナ禍での訪問看護の通常業務は、災害時対応と同じ様相です。私たちが行けなくなった時に、安定した状態の人が自宅で過ごせるためのセルフケアを、普段からどのくらい支援できているか。これが、通常の訪問看護機能を維持するための災害時対応の肝です。これからでも遅くありません。立ち止まらずやってみましょう。

たよりに書いたのはここまで。

連休が恐ろしい(笑)。

2021年4月27日(火)

AM コミュニティケアから、特集号のためのヒアリング

PM~保健所依頼に対応 そしてワクチン

2021年4月26日(月)

保健所依頼に対応

2021年4月25日(日)

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのが毎日楽しみ。**

今日も午後から陽性者対応の依頼が保健所から。
子どもたち連れて公園に行ってきたけど、すぐ戻って出勤準備し、車を出す。
途中まで向かっていると再度保健所から電話で、入院でき訪問不要となった旨連絡あり。
これからずっとこんな感じが続くのか・・・。

2021年4月24日（土）

家で木をチョキチョキしたり、ゆっくりしていたら出勤当番の主任から電話があり、コロナ陽性者対応の依頼があった報告でした。2名で陽性者宅に訪問、夜までかかっています。

2021年4月23日（金）

本部で一日中、経営改善の会議。訪問看護としてのやりようできてきて結果も出してきたと思っているし、そこには並々ならない苦勞があったと思っています。依頼を断らない、24時間365日の対応、それを支えるための体制づくり。一緒にやってくれるスタッフに感謝。

2021年4月22日（木）

スタッフや家族、利用者さんなどに発熱があったとの連絡、対応が増えていきます。慣れてきましたが、気が抜けないですね。みんな不安なんだろうなと思いますので、私がしっかり対応できなければと思い、判断軸の資料といつも首っ引きでにらめっこです。

2021年4月21日（水）

追記：所長会で保健所からコロナ陽性者支援のスキーム説明に来てもらいました。
管理職からいろいろな質問をだしてくれ、頼もしかったです。

2021年4月21日（水）

所長会、チャットツール業者さんとの打ち合わせ、そうしている間に今日もコロナ陽性者への対応依頼あり。細かなことについて保健所副所長に確認を入れました。
チャットツールをすごく活用して助かっています。訪問看護財団にPPE物品送付の申請するよう指示を出したり、感染対策の動画や資料を共有したり、相談事を投稿したり。全部をメンバーで共有できるので、情報格差が減り仕事が進めやすくなっています。

2021年4月20日（火）

コロナ陽性者への対応依頼が複数あり。管理職に業務を整理しておくよう指示しました。
保健所委託業務は、保健所職員の代わりに家庭訪問し自宅療養者への対応をするもの、介護支援スキームは介護事業所撤退により支援が必要になった人。当センターは管理職だけが対応するように役割分担をして、対応する予定です。

2021年4月19日（月）

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

事業報告書を本部に提出、午前は法人の管理職会議、午後から教育委員会の担当者と電話で打ち合わせ。合間合間に保健所からコロナ陽性者対応体制に関する連絡や、スタッフの家族が濃厚接触のためお休みして検査受けるなどの報告が入る。気が抜けない。

2021年4月16日（金）

チャットツールのトライアルが今日まで。とはいえ、使い勝手や目的を達成できそうか、対価は、など考えると、なかなか決められません・・・

営業さんAさんに相談したら、延期してくれました。ありがたい～

2021年4月15日（木）

精神科訪問看護は、精神科での経験もしくは研修受講が必須となっています。

また当センターでは、新入職スタッフには訪問看護Eラーニングを必ず受けてもらっています。今年の精神科訪問看護実習の受講者が決まりました。当センターの理念を実現するため（住み慣れた場所で最期まで過ごせる地域づくり）、日々コツコツと。

2021年4月14日（水）

インターンシップに現役看護師が来てくれました。仲間になってくれるといいなあ。

午後からは訪問看護課研修で、ラダーについてしゃべりました。参加できないスタッフ用に録画までされていました。

保健所依頼のコロナ陽性者対応に従事する看護管理職のワクチン接種について、保健所との調整ができました。接種はまだ先ですが、とりあえず良かった。

2021年4月13日（火）

AMは県訪問看護推進会議で作成中の、新卒訪問看護師育成に関する指導ガイドライン（的なもの）の原案を、大学の先生に意見をもらいながら整えつつあります。

午後からは、県立看護大学の実習打ち合わせに2名の先生がお越しになりました。

コロナ禍でも学生実習は受け入れているものの、地域での流行時は、現場に同伴訪問することはリスク管理の上でしていませんでした。学校側と学生さん自身がリスク管理がじゅうぶんでしていると判断すれば、地域での流行がなければ、利用者さんの同意のうえで同伴はありと思っています。学習の機会を奪わないようにしないと、卒後に影響があると思うので、できるだけことは調整したいと思っています。

2021年4月12日（月）

医療従事者の優先接種予約が19日月曜日から始まります。チャットツールの連絡ノートに方法を掲載しました。

また、副反応がかなり出るようなので、訪問に支障が出ないように、誰が何曜日に予約するというような予定表も、各拠点の管理職がつくりました。予約うまく取れるといいなあ。

**カコミはICTツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。**

2021年4月10日（土）

お休みの日ですが、法人の事務局よりコロナ陽性者対応のことで相談の電話。
そのあとで、サテライトのスタッフから悩みごとのメッセージがあって、やり取り。
整理できたようで良かった～。

2021年4月9日（金）

この拠点の管理職の一人がダウン。忙しかったから疲れとれていなかったのねと反省。
病院での退院カンファレンスに参加し、話が変わるほうに行きそうだったから、つい仕切ったけど、
方向が定まり話も進んだ。良しとしてもらおう。
バイタルリンクのWEB会議が夜に。これから活用うまくやれたらいいなあ。

2021年4月8日（木）

朝から何かとバタバタしてしまい、新卒 S さんのオリエンテーションだったのに、ちゃんと話
できなかった。
チャットツール、2つくらいに絞れてきました。

2021年4月7日（水）

所長会。次世代の担い手2人、頼りになります。
今チャットツールの導入を検討していて、色々見たり、営業さんと話していますが、なんであんなに値段が違うんだろう。顧客側から見ると、昨日の違いはそれほど判らない。

2021年4月2日（金）

新卒看護師が入職。本部でのオリエンテーションを終え、今日から配属になりました。
フレッシュな雰囲気がいいなあ。
今日は超忙しい。県のコロナ支援スキーム確認の問い合わせで、保健所と打ち合わせに入って、
県ステーション協議会のことでもう一人の副会長と打ち合わせして、医師会の先生とコロナ対応のことでやり取りして、大学の先生と ST 協議会でのコロナ関連アンケートの件で打ち合わせして。

2021年4月1日（木）

新年度！新たに既卒の看護師が入職となりました。
にしても、今週長い・・・

カコミは ICT ツール「始業時報告」内容とそれに対するコメントです。
スタッフがいろいろ書くのを見るのが毎日楽しみ。